

普及情報

分類名〔草地資料〕

## 飼料用トウモロコシ奨励品種「ハ°イニア108日」「スノーデント118」

畜産試験場

### 1 取り上げた理由

市販されている飼料用トウモロコシの中から、畜産試験場において検定を行った結果、成績優秀であった品種を奨励品種とする。

### 2 普及情報

#### 1) パイオニア108日 (35Y65 パイオニア)

- ・当試験場におけるRM（出芽から黄熟期までの日数）は114日となった（メーカーRMは108日）。早晚生は早生である。
- ・標準品種（ハ°イニア106日）と比較して長稈であるが耐倒伏性優れる。（表1）
- ・耐病性は標準品種とほぼ同程度である。（表2）
- ・茎葉，雌穂ともに収量が高い（表3）
- ・乾物中に占める雌穂割合が高く，栄養収量にも優れる。（表3）

#### 2) スノーデント118 (DKC61-24 雪印種苗)

- ・当試験場におけるRMは116日となった（メーカーRMは118日）。早晚性は中生である。
- ・標準品種（ハ°イニア115日）より長稈であるが，着雌穂高は同程度であり耐倒伏性に優れる。（表1）
- ・耐病性は標準品種と同程度であるが，やや根腐病に弱い。（表2）
- ・収量性に優れ，特に茎葉の収量が高い（表3）

### 3 利活用の留意点

- 1) 密植栽培により、ごま葉枯病、すす紋病、紋枯病の発生増加、稈径が細くなることによる倒伏の増加につながるので、栽植密度は10a当りパイオニア108日は7,500本以下，スノーデント118は7,000本以下とする。
- 2) パイオニア108日はすす紋病に罹病しやすいので同病の発生ほ場での栽培や連作をさける。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場 草地飼料部 電話 0229-72-3101）

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

飼料作物・牧草適応品種の選定 (1)飼料用トウモロコシ (昭和57年～)

##### 2) 参考データ

表1 生育特性

品種名	発芽 良否 (1-9)(注1)	初期 生育 (1-9)(注1)	稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	倒伏 割合 (%)	折損 割合 (%)
ハ <sup>o</sup> イデア108日	8.6	6.1	247	117	0.0	0.2
ハ <sup>o</sup> イデア106日(標準)	8.6	4.9	222	106	0.2	0.0
スノデント118	8.7	5.3	282	138	0.2	1.1
ハ <sup>o</sup> イデア115日(標準)	8.6	5.2	258	137	0.0	0.8

(注1)出芽の良否,初期生育は極良を9,中を5,極不良を1とする評点法。

(注2)H14-H16年(3カ年)の平均値。

表2 病害程度

品種名	ごま葉枯病 (1-9)(注1)	すす紋病 (1-9)	黒穂病 (%)(注2)	根腐病 (%)	紋枯病 (%)
ハ <sup>o</sup> イデア108日	3.0	1.5	0.0	1.8	3.6
ハ <sup>o</sup> イデア106日(標準)	2.3	1.5	0.1	0.3	3.9
スノデント118	2.9	2.5	0.0	3.0	2.9
ハ <sup>o</sup> イデア115日(標準)	4.2	1.7	0.0	2.2	2.5

(注1)被害程度と被害面積に応じて無を1,甚を9とする。

(注2)罹病個体の全個体に対する割合。

(注3)H14-H16年(3カ年)の平均値。

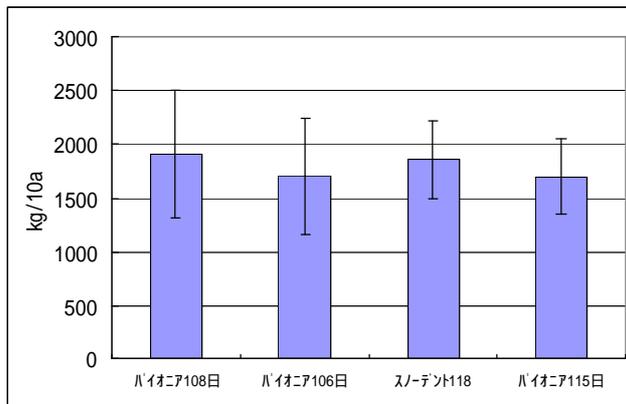


図1 品種別乾物収量の比較

表3 収量性

品種	乾物収量(kg/10a)			乾物雌穂 重割合(%)	TDN収量 (kg/10a)
	茎葉	雌穂	総重		
ハ <sup>o</sup> イデア108日	925(111)	983(113)	1908(112)	52.1	1306(110)
ハ <sup>o</sup> イデア106日(標準)	837	867	1704	51.1	1186
スノデント118	980(122)	878(103)	1858(109)	47.1	1218(106)
ハ <sup>o</sup> イデア115日(標準)	804	850	1701	50.8	1146

(注1)H14-H16年(3カ年)の平均値。

(注2)乾物収量及びTDN収量の欄の( )内は,標準品種を100とした場合の比。

##### 3) 発表論文等 なし